

令和 8 年度第 2 回七尾市戦略的復興プラン等推進委員会 議事録

日 時	令和 8 年 8 月 4 日（火）午後 3 時 3 0 分～午後 5 時 0 0 分
場 所	七尾市役所 5 階 災害対策本部室
出席者	【委員】出席 1 3 名（オンライン 5 名）、欠席 2 名 【七尾市】事務局
委員会における議事内容（質疑応答・意見等）	
委員長 事務局	1 開会 委員長あいさつ 2 議事 （1）今後のスケジュールと進め方について 今後のスケジュールと進め方について事務局から説明を願う。 （「資料 1」により説明） －質疑・意見－
委員長 委員 委員長	この議題について、何か質問はあるか。 ワークショップにはファシリテーターやコーディネーターを配置するのか。 そのように考えている。グループの中からリーダーを 1 人選出し、その人に
事務局	ファシリテーターやコーディネーターの役割をしてもらう。各テーマは資料 2 になるので、先に事務局から資料 2 の説明を願う。 （2）前回推進委員会での提案内容について （「資料 2」により説明） －質疑・意見－
委員長 委員 委員長	この議題 1 及び 2 について、何か質問はあるか。 テーマは 1 人 1 つしか選べないのか。 どのテーマにも参加可能で、関心のあるテーマが複数あるなら複数参加も可能とする。
委員 事務局	この 5 つのテーマはどのように決まったのか。前回、委員会に出席していないため経緯がわからないので教えてほしい。 前回の委員会でいただいた意見を各課に照会し、内容を事務局で絞り込んだ

田委員	ものになる。
委員長	テーマ2の造船技術の人材育成と技術承継に違和感がある。特にアニメコラボとあるが、七尾市は「君は放課後インソムニア」の題材となったことから、七尾仏壇などのストーリー化や、宮下先生らに依頼した短編漫画の制作をした方が良いのではないかな。
委員	このテーマ4については、委員からお話をしていただきたい。
委員	先ほど発言していた方々の意見に配慮し、これまで発言を控えていた。しかし、本提案は単なる思いつきではなく、江戸時代から続くこの街のものづくり産業としての「産業クラスター」という歴史的背景を踏まえて提出したものである。これは市民が知っておくべき重要な歴史であり、データに基づいた事実である。
事務局	あと、前回の委員会で意見のあがった「プレ妊活」などの取り組みはどうするのか。また交付金の残額が約17億円あるとのことだが、期間が令和9年度までであれば、事業化するの難しいのではないかな。
事務局	プレ妊活などすでに全国的な施策として取り組んでいることをテーマとして挙げていない。能登半島地震からの創造的復興に関連するものをテーマとして選んだ。また交付金の期間については、現在、県が国と協議し、延長する方向で調整していると聞いている。
委員長	子育て世代の委員からご意見をいただきたい。
委員	テーマ3の断水対策と4の遊び場の整備について、例えば富山県の事例では、井戸水を利用した水遊びや、井戸ポンプに触れて遊べるなどの屋外遊び場を整備している。当市の取り組みとして参考にしてよいのではないかな。
委員長	オンライン参加の委員からのご意見をいただきたい。
委員	自分の立場から観光分野に関心を持っているが、現在の提示テーマは、やや限定的・局所的ではないかと感じている。対象地域との歴史的背景や文脈に基づくストーリー性があるのか、あるいは過去の成功事例を踏まえた選定なのかという経緯を踏まえた上で、参加を検討したいと考えている。
委員長	委員からのご意見をいただきたい。
委員	参加テーマについては、自身の担当業務と関連性が高いテーマ5への参加を希望する。専門知識やノウハウが乏しいその他のテーマについては、十分な議

	論を行うことが難しく、貢献が困難であると判断したためである。また、今回提示された５つのテーマに関しては、短期間での検討であることも影響してか、既存の「戦略的復興プラン」や「七尾市復興アクションプラン」からどのように導き出されたのか、やや唐突感がある印象を受ける。
委員長	委員からのご意見をいただきたい。
委員	提示された５つのテーマの中には、農林水産業に直接関連するものが含まれていない印象を受ける。全般的に関心はあるものの、自身の専門・立場である農林水産業の観点から見ると、例えば「造船技術」等の特定の専門グループに参加することには違和感がある。
委員長	では、引き続き （３）提案事項の絞り込みについて を検討したい。委員の皆様のご意見を伺いたい。 －質疑・意見－
委員	５つ全てのテーマをするには時間を要する。このテーマの中で市として絞りたいテーマがあるのではないか。ワークショップをするのであれば、委員の中で、１時間交代でローテーションにして全員がすべてのテーマに参加できるように実施すればいかがか。
副委員長	すべてのテーマの日時を個別に設定し、委員が複数のテーマに参加できるように調整すべきではないか。
委員	円滑な運営のため、コーディネーターの配置や、商工会議所からの専門家派遣を活用すればどうか。コーディネーターとなる人は、テーマに詳しい人というよりは、第三者の目線で議論をまとめる役割を果たすことが望ましい。
委員	提案するからには予算化できるようにしてほしい。
委員長	事前資料があれば各担当課から提供していただきたい。
委員	建設的な意見交換となるように、資料２に関する議論をまずは庁内で行い、その上で行政のやりたいことと各委員が行政に期待していることのすり合わせを行い、提案に向けた準備をするのが良いのではないか。
委員長	この場では、ワークショップのやり方が決まらないので、事務局と委員長、副委員長で後日、決めさせていただくことでご了承願いたい。 本日の会議はこれにて終了とする。会議の進行にご協力いただき感謝する。

	3. 閉会 —終了
--	--------------